

将来世代の負担にならない財政運営を

遠藤町長／負担とならない財政運営を図る

小磯 財政の現状及び収支見通しについて伺います。

平成33年9月には広野火力発電所でIGCCが運転開始予定であり、新たな固定資産税の増収が見込まれ、健全な財政運営は維持できると見込んでいます。

①計画性の無いその場しのぎの財政運営が見受けられます。
②町民が健康で安心して暮らせる環境づくりを実現するための財政運営を基本方針としています。

③将来世代への責任を果たす財政運営について伺います。

町長の現状と長・中期財政収支見通しを伺います。

町長 ①平成28年度は、8億円の基金の増額が見込めるため、財政調整基金の残高は17億4千万円となる見込みです。

②町民が健康で安心して暮らせる環境づくりを実現するための財政運営を基本方針としています。
③地方債の借入は、負担をさせていただくことが適当な事業を対象とすることを心がけ、将来世代の負担とならない財政運営を図ります。

④交付金・補助金の返還による事業の中断等はないのか伺います。

計画的な予算執行を

遠藤町長／事業を精査し計画的な執行に努める

小磯 計画に従って事業を実施し、係る費用を支出することが予算執行ですが、

①被災住宅再建を担う津波被災者等住宅再建支援事業の決算金額・達成率はいくらですか。
②7年度繰越明許費・一般会計15事業、総額5億5454万円の執行ができて来年度に繰り越した理由はなんですか。
③交付金・補助金の返還による事業の中断等はないのか伺います。

他の達成率が悪い事業名とその理由をお知らせ下さい。

①当初予算額は1億4100万円に対し、支出額は2405万円、執行割合は17.4%です。執行割合の低い主な事業は、土地開発事業特別会計操出金の平成26年度からの繰越事業の執行割合は51.6%であり、その理由は、工事内容を見直したところなどにより事業費が縮減されたためです。復興道路整備事業の執行割合は18.2%です。

②関係機関との協議に時間を要したため年度内の事業完了が困難になり、国の補正予算による事業のため年度内の事業完了が困難となったためです。
③現在、事業の補助金等の返還による中断はありません。

応急仮設住宅供与期限終了に伴う対応は

遠藤町長／様々な支援策により対応する

小磯 帰町難民を防ぐため、最後の一人まで責任を持つて対応するべきと考えますが、

①町外居住者の帰町は可能なか伺います。
②帰町困難者に対する対応を伺います。

町長 ①戸別訪問とアンケート調査により、平成29年3月末までに約1700人が帰町すると見込まれ、町内居住

者は、人口の約8割の約4000人になると推測されます。来年3月末時点では、約1000人の方々が帰町されない状況と推測します。

②地震・津波により、住宅支援が必要な方に対して、第二期災害公営住宅14戸、駅東側民間集合住宅114戸が来年3月末には完成するため、対応できると見込んでいます。

町と議会の関係性を理解しているか

遠藤町長／一体感を持って取り組むことが重要

小磯 首長の権限は予算や条例などの議案提出や人事などを執行、議会は議案の議決など行政運営を監視し、要望活動等は共に連携を取ることが前例ですが、

①国の復興に資する様々な支援と被災者の生活再建に対する継続的な支援並びに廃炉に向けた着実な取り組みに向け、一体感を持って進むことが重要と考えます。

②執行機関と議事機関との関係をどのように考えていますか。
③今後は執行機関のみで要望活動するのか伺います。

②町が独自に行う要望は、できる限り議会の皆様のご理解を得ながら合同による要望活動を進めたいと考えています。

2件の工事契約を可決

平成28年7月21日に第3回臨時議会を開きました。

工事請負契約の締結に係る2件の議案を全員賛成で可決しました。

工事の名称 浅倉橋橋梁整備工事

施行場所 上浅見川字蛇木地内

工事請負代金 1億3824万円

工期 着工 平成28年7月22日 完成 平成29年3月24日

請負者 横山・五社山特定建設工事共同企業体

第3回臨時会

工事の名称 北迫地区排水路（樋門）築造工事

施行場所 下北迫字前川原地内

工事請負代金 6717万6000円

工期 着工 平成28年7月22日 完成 平成29年3月31日

請負者 西本建設株式会社



交通の利便性と安全確保のために（浅倉橋）

質疑

北迫地区排水路（樋門）築造工事

雨量の想定はどの程度か

門馬 巧議員

坂本建設課長

樋門の断面は1.7mとのことですが、事業を行う地域は従来より冠水頻度が多い地区かと思えます。想定される雨量等はどの程度を想定してこの断面に決まったのでしょうか。

時間雨量は確率10分の1で計算し、50mm近くの対応の設計です。また、久保田1号線、常磐線の下には、海側の方に排水管が築造されているため、そのことも勘案しながら排水能力を確保して進めたいと考えています。

完成時期が遅れることはないか

遠藤 浩議員

坂本建設課長

現在、河川の工事が行われていますが、県と町で行う相互の工事の調整等はされていますか。

県の工種の影響等で、工事の完成時期が遅れることはありませんか。

北迫川沿線、右岸・左岸も県の工事と町の工事を展開していきますが、優先施工順序としては排水・樋門の設置が一番先になる予定であり、来年の3月までに竣工出来るようにしたいと考えています。